

## タカネヒカゲ八ヶ岳亜種保護増殖事業計画の策定について

(令和5年10月11日中央環境審議会答申 令和5年12月13日告示)

1 タカネヒカゲ八ヶ岳亜種 (*Oeneis norna sugitanii*) の概要及び現状

- ・ 国内希少野生動植物種 (令和3年1月指定)
- ・ 絶滅危惧 IA 類 (CR) (環境省レッドリスト2020)
- ・ 本州の高山蝶の中で最も高標高の2,500m以上に生息し、幼虫で2～3年間を過ごすことが知られている。生息地は、八ヶ岳の稜線部のハイマツ帯の風衝地である。
- ・ 存続を脅かす要因としては、ニホンジカの食害による生息地の攪乱、吸蜜源の減少、気候変動による生息地の標高及び植生の変化、違法捕獲等が挙げられる。



菅原氏提供

## 2 タカネヒカゲ八ヶ岳亜種保護増殖事業計画の概要

策定省庁	農林水産省・環境省
第1 事業の目標	自然状態で安定的に存続できる状態とすることを目標とする
第2 事業の区域	長野県八ヶ岳における本亜種の生息地 (かつて生息地であった地域を含む。) 及び飼育下繁殖等を行う区域
第3 事業の内容	1 生息状況等の把握 (生息状況等の調査、生息環境の調査及びモニタリング、個体群の維持に影響を及ぼす要因の把握及びその影響のモニタリング)
	2 生息地における生息環境の維持及び改善 (高山環境の維持及び回復、食草等の保護及び植栽)
	3 飼育下繁殖及び野生復帰の実施
	4 生息地における違法な捕獲等の防止
	5 普及啓発の推進
	6 効果的な事業の推進のための連携の確保